



在宅医療(訪問診療)は、皆さんが自分らしく 最期まで大好きなご自宅で生活するためにあ ります。訪問診療をはじめ、訪問看護、訪問 リハビリなどで療養生活を支えます。



BRESE SE

外来通院・訪問診療・入院治療は何が違う?

外来通院

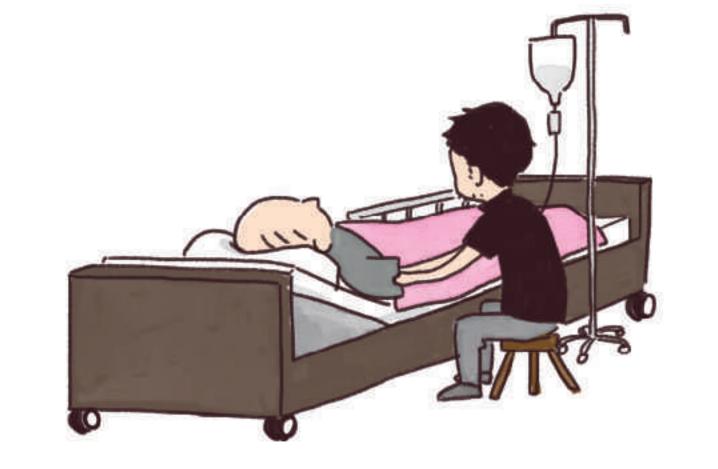
…患者様が診療所へ行き、定期的に診察を受け、薬を処方される

訪問診療

…医師が患者様のご自宅へ伺う。 患者様は定期的に診察を受け、薬を処方される

入院治療

…患者様が病院へ泊まり治療をする。 骨折、肺炎、がんなど毎日の治療が必要な場合



「医師が患者様のご自宅で診察を行う」こと以外は、外来通院とほぼ変わりありません。 訪問診療と訪問看護を組み合わせることで、入院治療の代わりを務められることもあります。

一方間診療の特徴は?

24 時間 365 日対応

患者様のご自宅へ、医師と看護師が月に 1~2 回、定期的に訪問します。 緊急時には24時間 365日対応し、必要に応じて採血などの検査も行います。 訪問範囲は、クリニックから16km 圏内 (緊急時に往診できる範囲)です。

定期の訪問診療

計画的・定期的に患者様 のご自宅などに医師が訪 問し、診療する。

緊急時の往診

急変の際など不定期に、 患者様のご自宅などに医 師が訪問し、診療する。

医療と介護が連携

医師、看護師、リハビリ、薬剤師、ケアマネジャー、医療ソーシャルワーカーなど、医療と介護の多職種が連携し、住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるようサポートします。



と"んな人が訪問診療を利用できる?

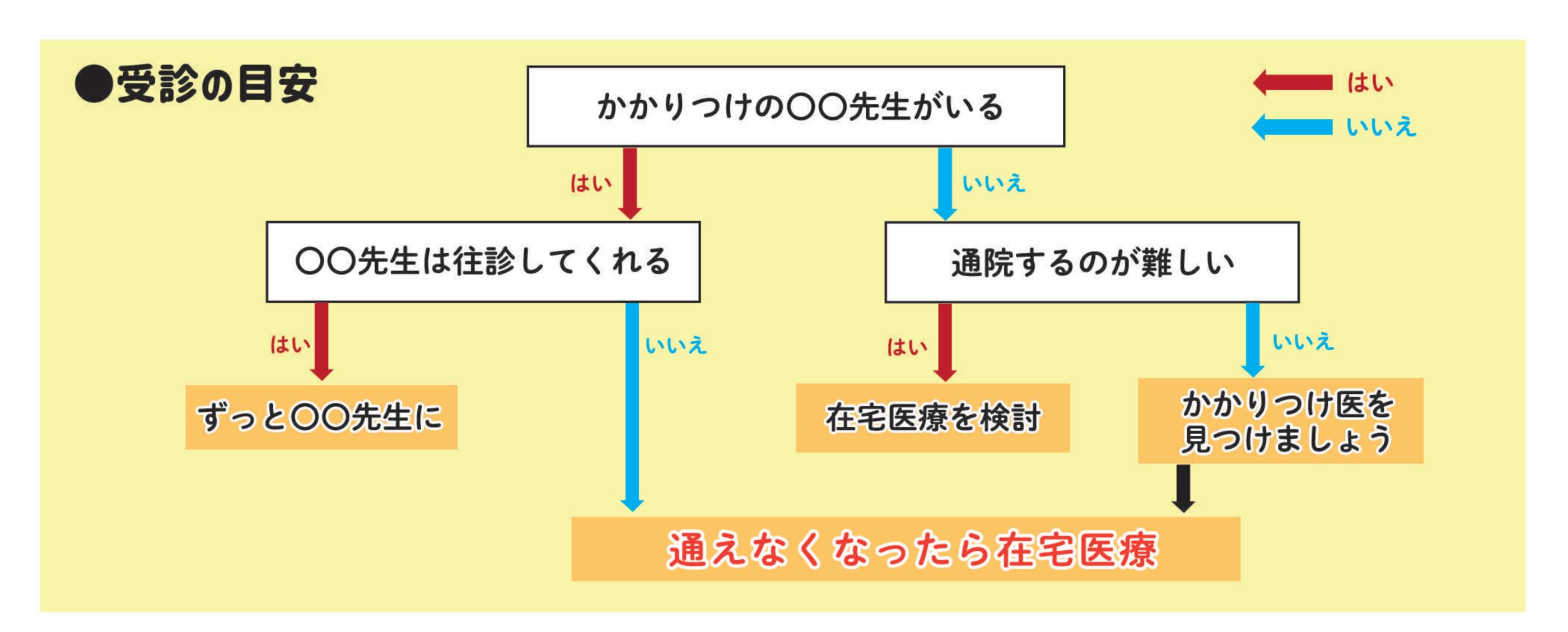
お一人での通院が困難な方が訪問診療の対象となります。

たとえば

- ・高齢のため足腰の力が弱くなり、通院が難しくなった
- ・自宅で療養したいが、医療的なケアやサポートが必要
- ・かかりつけの病院はあるが、具合が悪くて受診できない







一方 問診療でできることは?

医療依存度の高い方への医療的ケアから、ご高齢の方の健康管理まで、 患者様の人生観や価値観に共感しながら過不足のない医療を提供いたします。

- 緩和ケア
- ・疼痛管理
- ・輸血
- ・褥瘡の管理
- ・在宅酸素療法
- ・尿カテーテル管理
- ・人工肛門/人工膀胱の管理
 - 腹水穿刺

- ・点滴管理
- ・気管切開部の処置
- ・人工呼吸器管理
- ·中心静脈栄養、経管栄養管理
- ・ご高齢の方の健康管理
- ・胸水、腹水穿刺
- ・薬の処方
- ・慢性疾患の管理



人工呼吸器

細やかに看て早期に対応 生活のすべてを相談できる存在

「住み慣れた場所で安心して過ごしたい」 という想いが叶えられるよう、主治医の 指示のもと看護ケアを提供します。



- ご年齢やお体の状態によって、医療保険または介護保険で 訪問看護を行います。
- 主治医やケアマネジャーなど、多職種と連携をとることで 安全で質の高いケアを提供します。
- ☑ 定期的に伺い全身を細やかに観察することで、異常があった 場合は早期に対応することができます。

医療的ケア

- ・病状の観察
- ・清潔、排泄、食事、服薬管理等のケア
- ・点滴や輸血の実施、カテーテルの管理
- ・がんなどのつらい症状に対する緩和ケア
- ・在宅酸素や人工呼吸器など医療機器の管理
- ・褥瘡(床ずれ)の予防や処置



療養生活や介護のサポート

- ・清潔保持のための清拭や入浴介助
- ・食事介助や排便コントロールなどの日常生活のサポート、助言
- ・介護をされるご家族へのアドバイスやサポート

「あなたらしい暮らし」のために 過不足なく素早く対応

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が患 者様のご自宅へ伺い、暮らしに寄り添った リハビリテーションを行います。



到等無無



歩きたい!気持ちに寄り添う

退院直後や、体調を崩してから動けなくなってしまった方が、少しでも動けるようになることを目指します。ストレッチや筋力トレーニングなどの運動のほか、ご希望にあわせた外出サポートも可能です。また、介助方法のアドバイスや、福祉用具(ベッド・歩行器など)のご提案、調整も行います。

份觀聽發記



チャレンジしたい! 気持ちに寄り添う

料理などの家事、着替えや歯磨き、トイレといった暮らしに必要なことから、日々の楽しみや生きがいにつながる趣味まで。思うように体が動かなくなっても、あきらめずに、できることから始めていきます。「作業」を通して、将来的に身体も心も豊かに過ごしていけるよう、サポートいたします。

冒問照過



食べたい! 気持ちに寄り添う

ご自宅で「食べること」を楽しめるよう、摂食・嚥下機能の評価と練習、食事についての指導をします。 管理栄養士とも連携しながら、お体の状態に合わせて、好きな物が食べられるようサポートします。 また、失語症の方など、言語障害に対しての発語・ 発声のサポートも行うことができます。